

\*\*\*\*\*

やまぐち通信 (やまぐち・くらしの安心ネット通信)

平成 29 年 1 月 18 日

—No.177—

事務局：山口県消費生活センター

\*\*\*\*\*

■ウェブサイト閲覧中のニセの警告音にだまされないで！ ■■■■■■■■

パソコンでウェブサイト閲覧中に、突然、警告音が鳴り、「あなたのパソコンがウイルスに感染した」という警告が表示される事例が多数発生しています。

大音量の警告音や消えない表示に驚くことがあっても、慌てて警告表示の中の番号に電話をかけるようにしましょう。

IPA(独立行政法人情報処理推進機構)によると、偽りのウイルス検出の警告を信じ、実際に連絡をしたところ、「パソコンを遠隔操作された。」「サポート契約をしてしまったが解約したい。」といった相談が急増しています。

対処としては、表示されているウェブサイトを閉じることですが、中には通常の操作を行っても、ブラウザを終了できないことがあります。その場合は、IPAのホームページを参考にしてください。

詳細については、以下の情報を参考にしてください。

[http://www.kokusen.go.jp/mimamori/mj\\_mailmag/mj-shinsen270.html](http://www.kokusen.go.jp/mimamori/mj_mailmag/mj-shinsen270.html)

○IPA(独立行政法人情報処理推進機構)ホームページ

<https://www.ipa.go.jp/security/anshin/mgdayori20160621.html>

■一酸化炭素中毒の事故防止について ■■■■■■■■

寒い日が続く中、暖房が効いた室内で過ごす時間も多くなりますが、この時期、特に注意したいのが「一酸化炭素中毒の事故」です。nite(独立行政法人製品評価技術基盤機構)によると、一酸化炭素中毒の事故は、死亡等の重篤な人的被害に至ることが多く、不注意や誤った使い方による「製品に起因しない事故」で多く発生しています。

石油ストーブなど燃焼機器を使用する際には、定期的に換気を行いましょう。もし、使用中に機器が消火する場合は、換気が十分でも直ちに使用を中止してください。また、吸気口や排気口がホコリ等でふさがれていないか確認し、こまめに清掃しましょう。製品を正しく安全に使用することで事故は未然に防ぐことができます。

一酸化炭素中毒の初期症状として、頭痛、吐き気、体調不良などがみられます。「おかしい」と感じたら、すぐに使用を中止し、販売店やガス事業者に点検・修理を依頼してください。

詳細については、以下の情報を参考にしてください。

○nite(独立行政法人製品評価技術基盤機構)注意喚起情報

<http://www.nite.go.jp/jiko/chuikanki/press/2013fy/131128.html>

■インフルエンザなどのウイルス感染を予防しましょう！ ■■■■■■■■

インフルエンザや、ノロウイルスの流行シーズンです。高齢の方や種々の慢性疾患を持つ方がインフルエンザにかかると、肺炎を伴うなど重症化するおそれもあります。流行を防ぐためには、原因となるウイルスを体内に侵入させないことや周囲にうつさないようにすることが重要です。

ウイルス感染を広げないために、一人一人が「かからない」「うつさない」対策を実践しましょう。

詳細については、以下の情報を参考にしてください。

○消費者庁 注意喚起情報

<http://www.caa.go.jp/kodomo/mail/past/vol/20170105.php>

